

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年10月01日

計画の名称	海南駅東地区における安全・安心で快適なまちづくり													
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	海南市													
計画の目標	駅東口を中心とした都市基盤の整備を図り、緊急車両が安全かつスムーズに通行できるように狭隘道路の拡幅や防災空間を確保し災害を拡がりにくくすることや、土地の有効活用など安全・安心のまちづくりを行うため市街地及び住環境の整備を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2,479	A	2,479	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30	R2	R4
1	地区内の狭隘道路の解消 狭隘道路延長／道路の延長	62%	56%	50%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	海南省	直接	海南省	—	—	海南駅東土地区画整理事業	都市再生区画整理事業	海南省	■	■	■	■	■	2,479	1.05	—
											小計						2,479		
											合計						2,479		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画の事後評価として海南市で実施	令和6年度
	公表の方法
	海南市ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	地区内の狭隘道路を解消できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
引き続き、狭隘道路の解消及び住環境の整備を図る。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	50%	支障物件の除却が進み、当初計画した以上に道路築造が進んだため。
	最 終 実績値	46%	